丹生ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場（第１回）
丹生ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場（第５回幹事会）

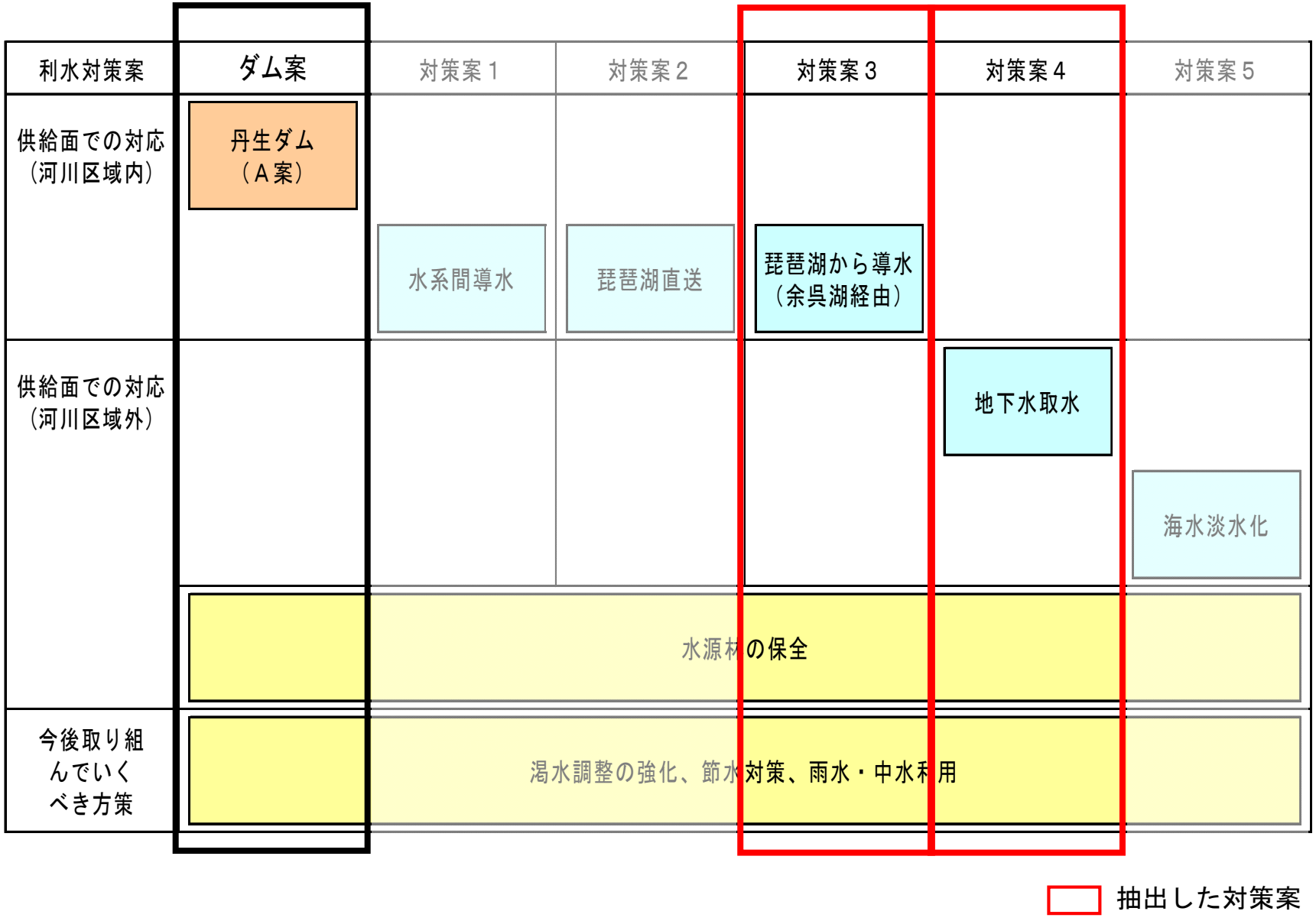
参考資料－４

流水の正常な機能の維持対策案

※丹生ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場（第3回幹事会）資料抜粋

概略評価による流水の正常な機能の維持対策案の抽出結果

流水の正常な機能の維持対策案の概略評価の結果、対策案３、４ の２案を抽出した。
今後、丹生ダム（A案）と抽出した２案について総合評価を実施する。



丹生ダム（A案）

【対策案の概要】

・淀川水系高時川に洪水調節、流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給を含む）を目的とする多目的ダムを建設する。

・丹生ダム（A案）において、流水の正常な機能の維持に必要な容量の確保を図る。

・民有地の用地取得は完了。水没予定地の家屋移転は完了。

【丹生ダム（A案）の概要】

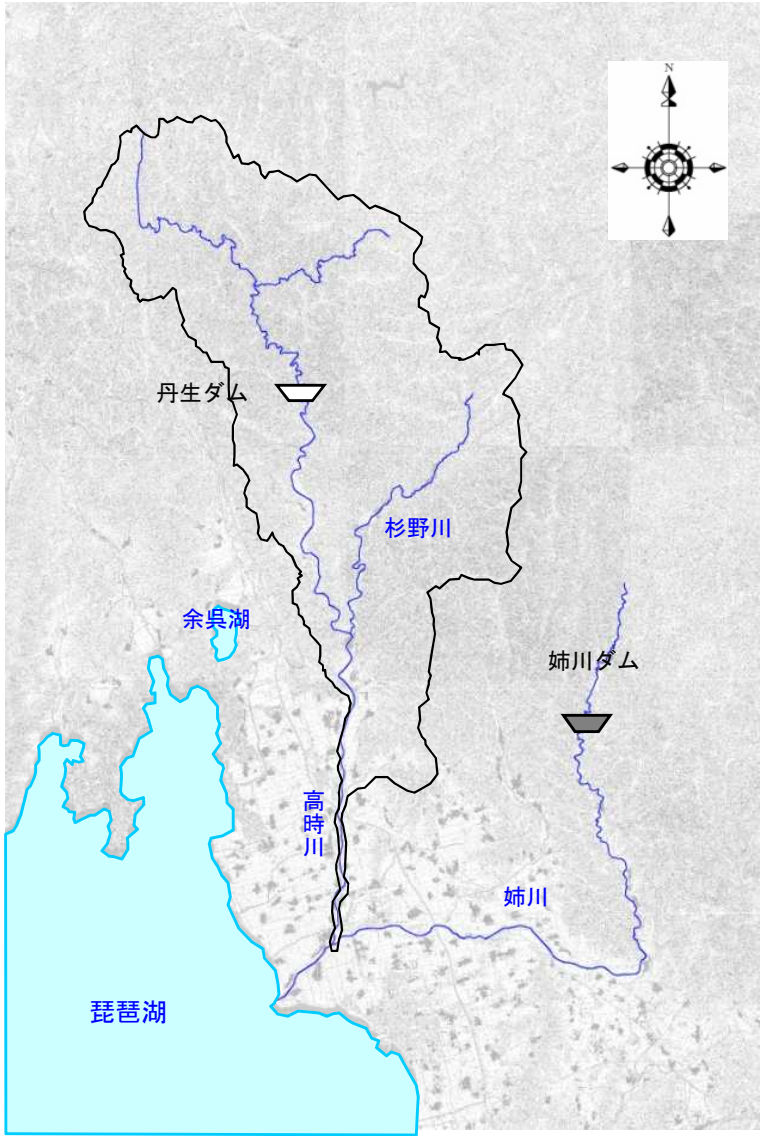
■丹生ダム

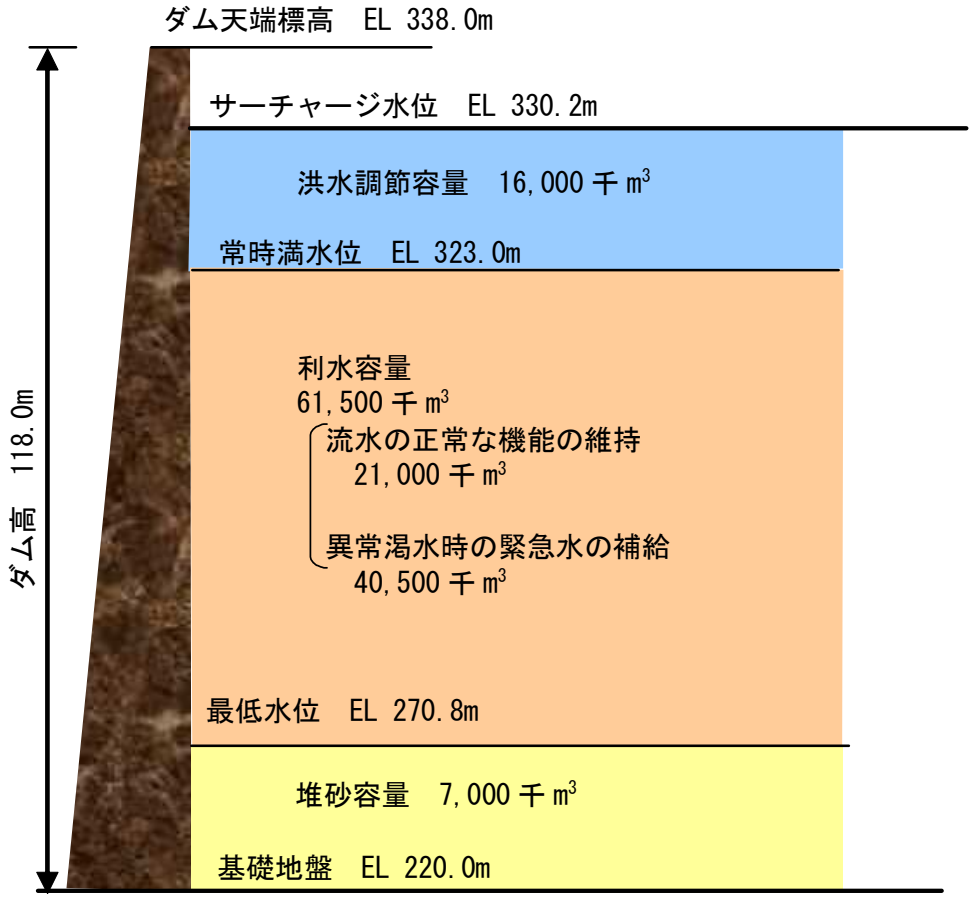
型式：ロックフィルダム（予定）

堤高：118m

集水面積：93km^2

総貯水容量：8,450万m^3





丹生ダム貯水池容量配分図（A案）

流水の正常な機能の維持対策案３：水系間導水（琵琶湖からの導水（余呉湖経由））

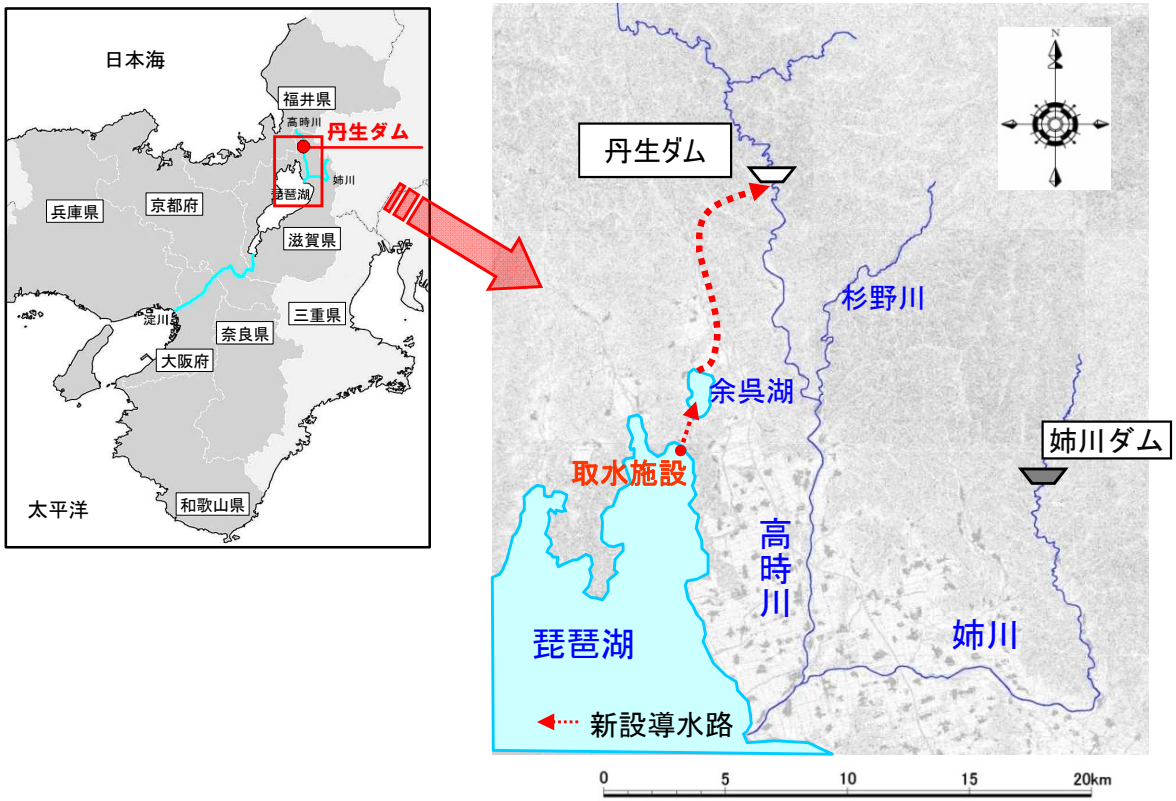
【流水の正常な機能の維持対策案の概要】

- 琵琶湖から取水し、余呉湖を経由して高時川上流までの導水路を整備することにより必要な水量を確保する。
- 導水ルートについては、地質や埋設物等の地下調査が必要となる。
- 琵琶湖の水と高時川の流水は水質が異なるため、逆送水は適切でないとの地元意見もあり、地元関係者との調整が必要となる。
- 琵琶湖から取水することについて、関係する河川使用者及び漁業関係者との調整が必要となる。
- 導水路の建設にあたっては、土地所有者及び関係者との調整が必要となる。

【流水の正常な機能の維持対策案の概要】

■水系間導水

導水路	φ＝1500mm、L＝約13km
取水施設	1式（用地取得を含む）
ポンプ施設	1式（用地取得を含む）



余呉湖経由導水の想定ルート

流水の正常な機能の維持対策案４：地下水取水

【流水の正常な機能の維持対策案の概要】

・伏流水や河川水に影響を与えないように配慮しつつ井戸を整備し、高時川上流までの導水路を整備することにより、必要な水量を確保する。

・井戸の設置や導水路の建設にあたっては、土地所有者及び関係者との調整が必要となる。

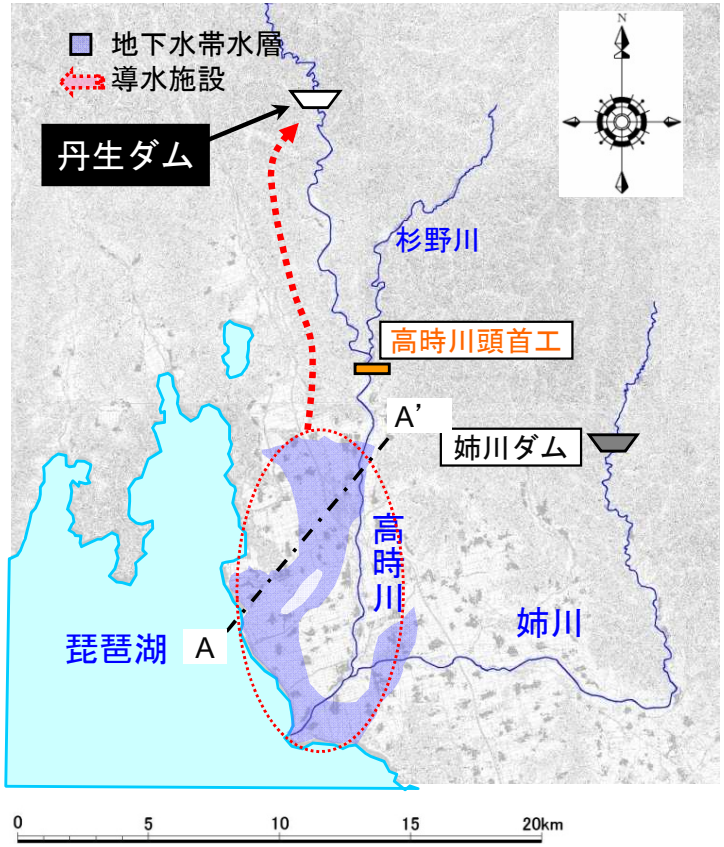
【流水の正常な機能の維持対策案の概要】

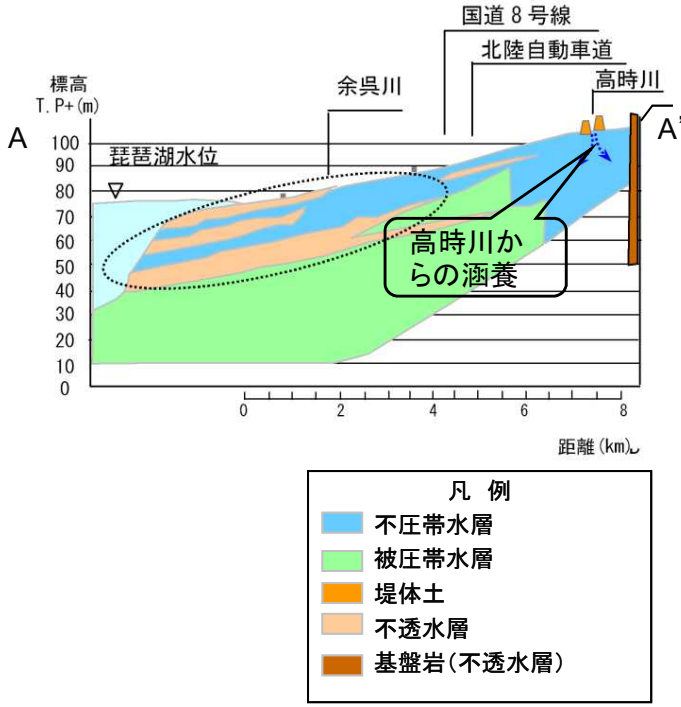
■地下水取水

取水施設（井戸）　約340本

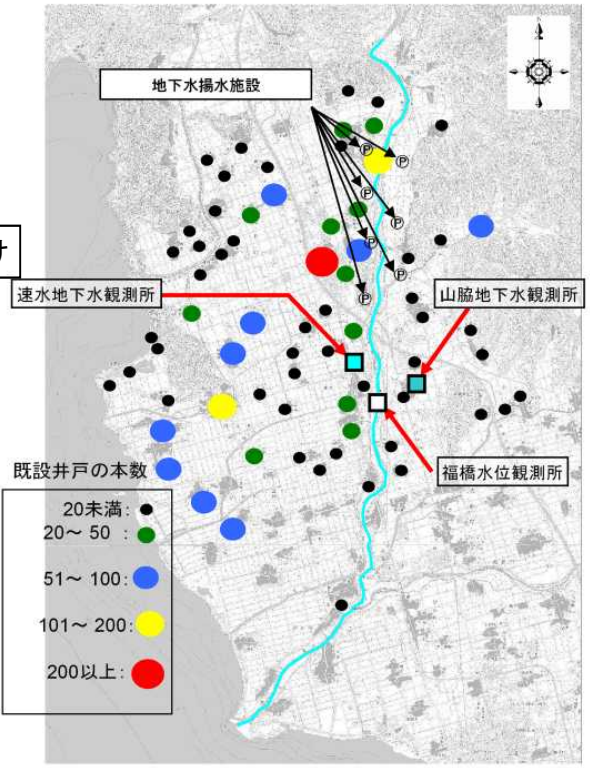
導水路　φ＝1500mm、L＝約15km

ポンプ取水　1式（用地取得を含む）





地下水取水による導水施設整備イメージ



既設井戸の分布と地下水位観測位置

出典：「湖北圏域河川整備計画（原案）概要説明資料（H16.11.13)滋賀県　河川に関する現状と課題」をもとに加筆